

# 「ささえる」

## ワークショップ1

### 二組の会話

IとIIのやりとりの違いはなんでしょうか？  
話しあってみましょう。

[ I ]

A 今度の休みに映画に行こうか？

B うん

A 封切りされた〇〇はどう？

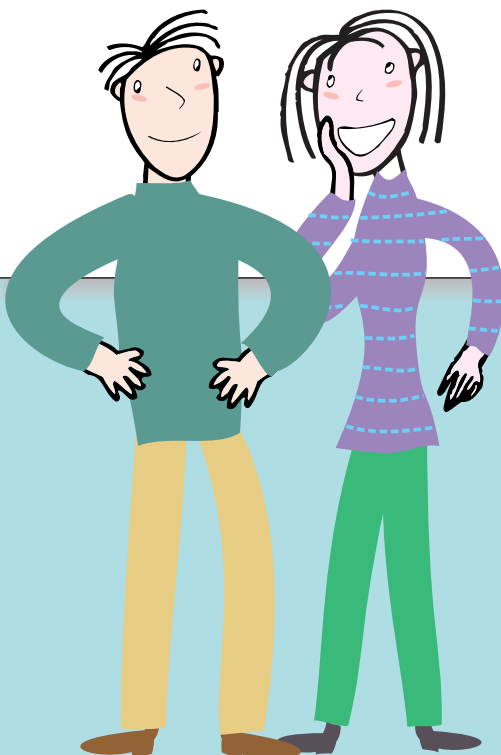
B いいよ

A そのあとで食事をしようか？

B そうだね

A いつものレストランでいいかな？

B そうしよう



[ II ]

C 今度の休みはどこかへ行こうか？

D うん、そうだね

C 何がしたい？

D じゃあ、映画でもどうだい

C どんな映画がいいかなあ？

〇〇がおもしろそうだって言っていたんじゃない？

D うん、でもそれよりも□□がみたいなあ

C このあいだ、テレビで予告編をやっていたよね？

D あのシーンがすごいんだよ

## ■ワークショップ 2

- 1 2人1組になって、聴く人と話す人を決めましょう。  
5分間したら交代します。



- 2 話す人は、自分が一番関心をもっているものについて5分間話し、  
聴く人はそれを批判せず共感して聴きます。  
質問などは一切せず、聴くことに徹しましょう。



- 3 役割を交代して、2と同じワークを繰り返し行います。



- 4 別の1組と合流して、  
4人1組をつくります。



- 5 4人がそれぞれ、相手から聴いた話を、あらたに合流した2人に伝えます。  
(「・・・さんは・・・だと感じられました。」というふうに)

- 6 相手の話がよく聴けたか、どんな時に話しやすかったかなどを  
ふりかえってみましょう。

## ■エピソード

安子さんは、毎月1回放課後の教室で子どもたちに折り紙を教えています。

子ども：「ねえ、もう折れたよ。」

新しいのを教えて。」

安子：「本当にじょうずになったねえ…。」

この次までにおばちゃんも

新しい折り紙を覚えてくるからね。」

子ども：「折り紙をしているときは楽しいんだ

けれど…。」

安子：「勉強だっていっしょうけんめい

やらないとだめですよ。」

子ども：「…うん。」



子どもたちが帰った後、PTAの役員会帰りの保護者の一人が顔をみせました。

保護者：「いつもお世話になっています。うちの子は、折り紙を教えてもらうのを本当に楽しみにしているみたいで…。」

安子：「よくがんばったのでじょうずになりましたよ。」

保護者：「でも…。家ではいらいらしたり、言うことをきかなかったり…。」

どうしたらいいのかと気になっているんですが…。」

安子：「どの子でもそんな時期があるものですよ。」

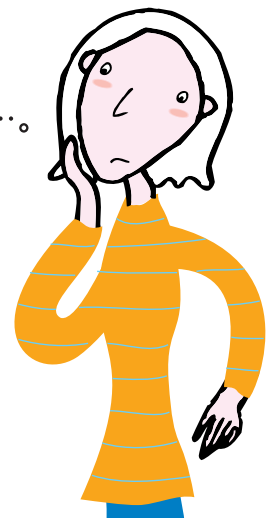
保護者：「今日はどんな様子だったでしょうか。」

安子：「楽しそうでしたよ。この次のときに、

親の言うことをきくように私がよく言って

きかせておきますから大丈夫ですよ。」

保護者：「…………。」



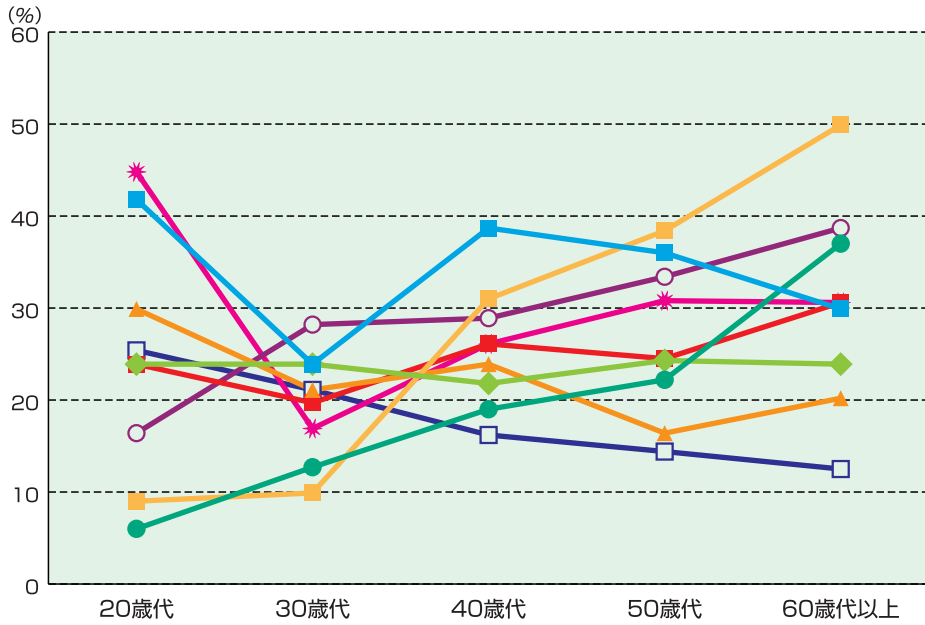
## 話しあいのポイント

●安子さんと子ども、保護者のやりとりについてどう感じましたか

●他人と接し、対話していくために必要なものとは何でしょうか？

●親や子どもをささえるために何が大切でしょうか？

### 現在のボランティア活動に参加した理由（複数回答）



- 何か楽しいことをしたかった
- \* 地域や社会を知りたかった
- 困っている人を助けたいと思った
- 仲間づくりがしたかった
- ▲ 友達や仲間から誘われた
- 社会やお世話になったことに対する恩返しをしたかった
- ◆ 自分の知識や技術を活かす機会がほしかった
- 生きがいになるものがほしかった
- 自分の人格形成や成長につながることをしたかった

資料：(社福)全国社会福祉協議会「全国ボランティア活動者実態調査」  
 ※出典：厚生労働省「平成15年版 厚生労働白書」

